

令和6年度スポーツ推進事業について

1 令和6年度スポーツ推進事業について
政策 I 子どものスポーツ機会の充実
I-1 未就学児の運動機会の充実・運動習慣や体力の重要性についての啓発

○親子ふれあい体育教室の充実

期日等	前期：令和6年6月9日～令和6年7月28日 全4回 ※第2回は熱中症の危険があるため中止 後期：令和6年10月5日～令和7年2月15日 全4回
会場	磐田市総合体育館 外
対象	幼稚園・保育園・こども園 年中・年長児と親、 小学校1・2年生 児童と親
参加者	前期 82組（園児 54組、小学生 28組） 後期 62組（園児 34組、小学生 28組）
内容	集団の中で協力し合い、子どもが自ら進んで運動できるように、親子運動を中心とした教室を開催。 （その他サーキットトレーニング、トランポリン、なわとび等を実施）



○ジュビロと連携した幼児合同スポーツ教室（サッカー）

期日等	令和6年4月17日～令和7年2月26日 全22回
会場	上大之郷グラウンド・ヤマハ加茂グラウンド
対象	年長児
参加園	42園（延べ人数 1,122名）
内容	ジュビロ磐田の施設等で、複数園が一緒に活動。普及スタッフの指導のもと、ドリブルやシュート練習、ミニゲームを楽しんだ。



令和6年度スポーツ推進事業について

○静岡ブルーレヴズと連携したラグビー体験

期日等	令和6年5月21日～令和7年2月6日 全40回
会場	園庭ほか
対象	年長児
参加数	40園（延べ人数 1,001名）
内容	静岡ブルーレヴズ普及担当の協力を得て、園児を対象にラグビー体験を実施した。 ラグビーボールに触れたり、タックルをしたりして楽しんだ。



- 親子でできる運動プログラムの提供、市内にある公園や遊具などの紹介
 静岡産業大学の協力を得て作成した“イワタ de 運動あそび”を配布

I-2 小中学生の運動機会の充実・体力向上につながる事業の推進

○わくわくスポーツ教室の充実

期日等	令和6年6月15日～令和6年12月21日 全8回
会場	福田南島体育館 外
対象	小学校3・4年生児童
参加者	27名
内容	運動の苦手な子どもや運動をする機会が少ない子どものために、運動に親しみ、進んで運動ができるきっかけを提供するための教室を開催した。



令和6年度スポーツ推進事業について

○5・6年生版わくわくスポーツ教室の開催

期日等	令和6年10月26日（土）、12月21日（土） ※体験会 令和6年7月13日（土）
会場	体験会：磐田市アミューズ豊田 本教室：磐田スポーツ交流の里ゆめりあ、磐田市総合体育館
対象	5・6年生
参加者	体験会 28名 本教室 10名
内容	小学校高学年を対象とした体験会と教室を実施。好評であったため、高学年を対象とした教室を実施。 高学年になっても運動に親しみ、進んで運動ができるきっかけを提供。



○ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業の実施

期日等	令和6年5月25日（土）
会場	ヤマハスタジアム
対象	市内小学校5年生・6年生
参加者	小学校5年生・6年生約3,000名、引率教員等
内容	同年代の子どもたちが一堂に会しジュビロ磐田の試合を観戦することで、スポーツに関心をもつきっかけをつくとともに、地元チームへの愛着や、磐田市をふるさととして誇りに思い愛する気持ちを育むことを目的に実施。 ジュビロ磐田 vs 湘南ベルマーレ



令和6年度スポーツ推進事業について

○静岡ブルーレヴズホストゲーム中学生一斉観戦事業の実施

期日等	令和7年1月18日（土）
会 場	ヤマハスタジアム
対 象	市内中学校2年生
参加者	中学校2年生約1,500名、引率教員等
内 容	<p>同年代の子どもたちが一堂に会し静岡ブルーレヴズの試合を観戦することで、子どもたちが様々なスポーツに関心をもつきっかけを作るとともに、地元チームへの愛着や、磐田市をふるさととして誇りに思い愛する気持ちを育むことを目的に実施。</p> <p>静岡ブルーレヴズ vs 東芝ブレイブルーパス東京</p>



©SHIZUOKA BlueRays / Yuuji Tamimoto


○くふうハヤテ野球教室

期日等	令和6年12月14日（土）
会 場	磐田城山球場
対 象	年長～小学3年生と保護者
参加者	51組102名
内 容	<p>身体を動かす楽しさを多くの子どもたちに体感させ、野球に限らず何かしらのスポーツに取り組むきっかけづくりとなることを目的に実施。</p> <p>プロ野球選手との交流を通じて、トップレベルのスポーツの触れる機会を提供。</p>



令和6年度スポーツ推進事業について

○SOMPO ボールゲームフェスタ in 磐田

期日等	令和7年2月15日（土）
会場	磐田市アミューズ豊田
対象	あそびバ：年中～小学2年生と保護者 キッズチャレンジ：小学1年生～小学6年生
参加者	あそびバ：42組（84名） キッズチャレンジ：74名
内容	<p>一般社団法人トップリーグ連携機構と共催。</p> <p>“あそびバ！”は、運動・遊びの中で基礎的な運動能力をアップできるプログラムを親子が一緒に体験した。</p> <p>“キッズチャレンジ”は、サッカー、ラグビー、バレーボール、ソフトボールの4種目を元トップアスリートから学んだ。</p>
	

○トランポリン体験会

期日等	令和7年3月1日（土）
会場	磐田市アミューズ豊田
対象	小学1年生～6年生
参加者	50名
内容	全国大会の開催に併せ、静岡産業大学トランポリン部と公益財団法人日本体操協会の協力を得て、トランポリン、タンブリング、ダブルミニトランポリンの3種目の体験会を開催。

令和6年度スポーツ推進事業について

○中学校部活派遣事業の実施

期日等	令和6年7月25日（木）から
指導校	城山中・向陽中・福田中・竜洋中・豊岡中
対象	市内公立中サッカー部員
回数	58回（2月末時点）
内容	<p>スポーツに係るブランド力を向上させることを目的として任用している元プロサッカー選手の任期付職員を、サッカー部活動のスキル向上のためにコーチ派遣事業を実施。ゴールキーパーという経歴を生かし、ゴールキーパーに特化した練習も取り組んだ。</p>



○JFA こころのプロジェクト「夢の教室」の実施

期日等	令和6年11月25日（月）、26日（火）
指導校	向笠小・豊岡中
対象	小学6年生・中学2年生
参加者	向笠小30名・豊岡中100名
内容	<p>公益法人財団日本サッカー協会と共催し元ジュビロ磐田河村崇大氏やYAMAHA 契約ライダー黒山健一氏等を招き、「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などの講話を実施。</p>



令和6年度スポーツ推進事業について

○ジュビロ磐田・静岡ブルーレヴズと小中学生の交流事業の実施

- ・学校訪問（ジュビロ） 小学校 21 校
- ・サッカー体験（ジュビロ） 小学校 2 校
- ・夢語り（ジュビロ、レヴズ） 小中学校 6 校
- ・ラグビー体験、講座（レヴズ） 小中学校 7 校
- ・タグラグビー継続指導（レヴズ） 小学校 5 校

○磐田スポーツ部活の実施（放課後活動課）

中学生のスポーツ活動の機会充実及び教員の負担軽減を図るため、地域の団体、大学及び企業と連携し、学校部活動の枠を超えた新たな（磐田スポーツ部活）事業を実施した。

○全国各種スポーツ大会に出場する個人・団体への支援


地区予選を勝ち抜き全国大会へ出場を決めた選手、チームへ支援を行った。

令和6年度実績（2月末時点）：94件 1,410,000円


令和6年度スポーツ推進事業について

政策Ⅱ ライフステージに応じ誰もがスポーツに親しむ機会の創設
Ⅱ-1 成人におけるスポーツの推進

○初めての大人のラグビー体験会

期 日	令和6年8月4日(日)	
会 場	磐田市アミューズ豊田	
参加者	24名	
内 容	運動機会が少ない大人を対象にラグビーの楽しさを知るきっかけとするとともに、本拠地で活動する「静岡ブルーレヴズ」を知る機会となるよう静岡ブルーレヴズと協力して実施。	

○楽La歩（ららぽ）ウォーク

期 日	令和6年10月4日(金)～10月14日(月・祝)	
会 場	ららぽーと磐田館内	
参加者	延べ951名	
内 容	静岡産業大学と考案した買い物ルートを「ウォーキングコース」にし、日常生活の中に運動習慣を取り入れ、スポーツを身近に感じてもらうきっかけとなるようららぽーと磐田、ゼビオ、静岡ブルーレヴズと協力して開催。 11日(金)にはららぽーと西広場にて足型測定とプロテイン試飲会、モルック体験会を実施。	

令和6年度スポーツ推進事業について

○いわたスポレク健康フェスティバルの開催

期 日	令和6年10月20日(日)
会 場	かぶと塚公園
参加者	1,000名
内 容	<p>スポーツの秋に誰もが参加できる行事として実施。市民相互の親睦と健康増進を図った。</p> <p>体力測定、トランポリン等多種目にわたり体験を行った。くふうハヤテやヤマハ発動機等多くの機関と協力して実施。</p>



○大人の運動会

期 日	令和6年11月23日(土)
会 場	磐田市総合体育館
参加者	24名 託児10名
内 容	<p>静岡産業大学と連携し、子育て働き盛り世代を対象とした運動会形式のイベントを開催。</p> <p>運動会の実施形態や種目等の企画運営を学生が主体となって開催。紅白に分かれ総合優勝を目指してモルックや玉入れ、大縄跳びに取り組んだ。</p> <p>さらに、託児機能を付け参加しやすい環境を整えた。</p>



○第27回ジュビロ磐田メモリアルマラソン大会開催支援

期 日 令和6年12月15日(日)

参加者 エントリー数：6,476人

令和6年度スポーツ推進事業について

○指定管理者等の特長を生かしたスポーツ教室等の実施

各施設の指定管理先が施設の特長を生かしながら工夫をし、幼児から高齢者までの各種教室を開催した。

○市民だれもが取り組むことができる健康づくり事業の促進

期 日 令和6年4月～令和7年3月

会場等 各地区公会堂、交流センター

内 容 【いきいき百歳体操】 主管：福祉政策課

【みんなでラジオ体操】 主管：自治デザイン課

【たのしっぺいシン・健幸チャレンジ】 主管：健康増進課

II-2 障がいのある人のスポーツの推進

○発達支援親子のびのびスポーツ教室の実施

期 日	令和6年8月31日～令和6年10月26日 全4回 ※第1回は台風のため中止
会 場	福田屋内スポーツセンター武道場、ゆめりあ
対 象	小学生の親子
参加数	14組 (28名)
内 容	<p>参加する子どもたちの発達段階に合わせた指導を行い、体を動かす楽しさを体験できる教室を開催した。</p> <p>親子運動、ダンス、パラバルーン、フロート 外</p>



令和6年度スポーツ推進事業について

○障がい者スポーツや障がい者と健常者がともに楽しめるスポーツ大会や教室の実施

➤ いわたモルック CUP

期 日	令和6年11月2日(土) 雨天中止
会 場	今之浦公園
参加者	16 チーム (43 名)
内 容	令和5年度に開催したモルック体験会からの発展としてモルック CUP を企画。 当日は、雨天中止となったが多くの申込があった。体験会等の普及活動の成果が見られた。

➤ いわたボッチャフェスティバル

期 日	令和7年3月22日(土) 予定
会 場	磐田市総合体育館
参加者	12 チーム (45 名)
内 容	子どもからシニア世代までの参加者が 12 チームに分かれトーナメント形式のボッチャ大会を開催予定。

○講師派遣事業

交流センター、小学校、施設等からの派遣依頼に対し、スポーツ推進委員を派遣し、ニュースポーツやパラスポーツ等の普及活動や運動指導を実施。参加者が楽しく体を動かしスポーツに親しめるように活動した。

また、「磐田市身体障害者スポーツ大会」の進行や競技運営の補助を行った。

○みんなの運動会 in IWATA

期 日 令和7年2月8日(土)

内 容 年齢や性別、障がいや特性の有無などに関わらず、誰もが参加でき、「楽しい！」を一緒に創る「みんなの運動会」を一般社団法人ASOBI 主催、磐田市・磐田市元気と笑顔づくりパートナーズ共催にて開催。

令和6年度スポーツ推進事業について

○車椅子ツインバスケットボール大会の開催支援

期 日 令和6年8月11日（日）

内 容 四肢障がい者がスポーツの発展と社会への参加及び資質の向上に寄与し、健常者との触れ合いの場を広げようと企画。全国から選抜された6チームによる開催予定であったが、1チーム不参加となり5チームで開催。

○障がい者スポーツ選手等による講演や体験教室の実施

▶ ブラインドサッカー教室

期 日	令和6年11月11日（月）、12日（火）
会 場	磐田中部小学校・富士見小学校 体育館
対 象	小学4年生 185名
内 容	パラリンピックの競技種目でもあるブラインドサッカーの体験を日本ブラインドサッカー協会の協力のもと行った。 

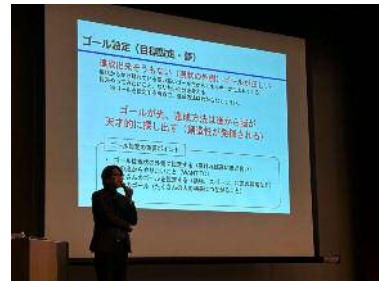
令和6年度スポーツ推進事業について

政策Ⅲ スポーツ環境の基盤となる「人」と「場」の充実
Ⅲ-1 指導者やボランティアの確保

○指導者等を対象とした研修会の充実

▶ メンタルトレーニング講座

期 日	令和6年8月20日、10月21日、12月2日、令和7年2月17日
会 場	磐田市磐田市アミューズ豊田
対 象	小学5年生以上、保護者、指導者、教職員 135名
内 容	青山龍氏を講師に招き、米国オリンピック金メダリストが活用する最新科学の脳の使い方を講演いただいた。子どもたちの「無限の可能性」を引き出すと共に、夢実現までのプロセスについて学んだ。



▶ PEP TALK 講座

期 日	令和7年3月7日（金）
会 場	竜洋なぎの木会館 大ホール
対 象	教職員、保護者、スポーツ指導者、子供同伴あり 定員 500名
内 容	岩崎由純氏を講師に招き、アメリカのスポーツ現場で使われているペップトーク講座を開催。やる気を引き出す魔法の言葉をキーワードに子供たちへの声掛けについて学ぶ機会を設けた。



○大学生のスポーツ推進委員への登用

静岡産業大学生らをスポーツ推進委員に登用した

○指定管理者やスポーツ協会等と連携した指導者の確保

○中学生や高校生のスポーツイベントの参加促進

○スポーツいわたボランティアクラブ（SIVC）の活動に対する支援

令和6年度スポーツ推進事業について

Ⅲ-2 大学やスポーツ団体等との連携

- 大学やスポーツ団体・企業等と連携した運動プログラムの開発や施策の実施
静岡産業大学と連携し大人の運動会を開催【詳細：政策Ⅳ】
YAMAHA 所属の黒山健一氏を招き、トライアルデモを実施
- 大学やスポーツ団体・企業等の保有するスポーツ施設の活用の検討
- 総合型地域スポーツクラブの充実を図る体制の整備
既存スポーツクラブへの支援

Ⅲ-3 施設を安全かつ円滑に使用するための取組

- 修繕計画の策定と適正な実施
修繕計画を策定し、施設が安全に使用できるよう施設の修繕を行った。
- 建設後30年以上を経過した施設が大半をしめるスポーツ施設について、再編整備に向けた検討に着手した。
- 指定管理制度を導入した施設の管理運営
- 公共施設予約システムの充実
学校体育施設（体育館、武道場、卓球場）の鍵の貸し出し方法の簡素化を図るため、令和5年度から一部小中学校に導入したスマートロック管理システムについて、令和6年度に全小中学校（工事中の向陽中学校を除く）への導入を完了。
- スポーツ施設以外でスポーツに親しむことができる場（ウォーキングコースや公園など）の紹介

令和6年度スポーツ推進事業について

政策Ⅳ トップレベルのスポーツを体感する機会の充実
Ⅳ-1 トップレベルのスポーツを「みる」機会などの充実

- ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業の実施【再掲】
- 静岡ブルーレヴズホームゲーム中学生一斉観戦事業の実施【再掲】
- 黒山健一氏によるトライアルデモの実施【再掲】

期 日	令和6年11月17日（日）
会 場	豊岡中央交流センター
対 象	磐田市民
参加者	400名程度
内 容	<p>モータースポーツを「みる」「知る」機会とし、モータースポーツに興味をもつきっかけづくりのために実施。</p> <p>地元企業である YAMAHA のモータースポーツ活動を市民に周知する場とした。</p>



- T. LEAGUE 静岡ジェード戦誘致及び観戦招待事業の実施

期 日	令和7年2月15日（土）・16日（日）
会 場	磐田市民文化会館「かたりあ」
対 象	磐田市民
参加者	2月15日：130人 2月16日：133人
内 容	<p>プロ卓球チーム・静岡ジェードのホームタウンとして卓球・Tリーグを誘致。</p> <p>令和5年度に続き2度目で昨年度に続き会場を「かたりあ」でプロスポーツの公式戦を開催。</p> <p>また、間近でプロの迫力やスピード感を肌で感じてもらうため、静岡ジェードと協力して磐田市民を招待した。</p> <p>15日 vs T.T彩たま</p> <p>16日 vs 岡山リベッツ</p>



令和6年度スポーツ推進事業について

○サッカー、ラグビーホームゲーム観戦招待事業の実施

ヤマハスタジアムで開催されるジュビロ磐田、静岡ブルーレヴズの試合を観戦することにより、プロスポーツを身近に体感し応援する気持ちを醸成させる。


対 象：サッカー 4試合、

ラグビー 1試合 を対象試合として位置づけ実施した

○ジュビロ磐田・静岡ブルーレヴズと小中学生の交流事業の実施【再掲】


○パブリックビューイング

▶ 2024 明治安田 J1 リーグ最終戦

期 日	令和6年12月8日（日）
会 場	磐田商工会議所
対 象	参加者数 約150人
内 容	<p>J2降格圏内の18位であり、アウェイでJ1残留をかけた試合に臨んだ。現地に足を運ばないサポーターとともに後押しをするため開催。</p> <p>J1 リーグ最終節 vs サガン鳥栖</p> 

○トップアスリートを招いた教室の開催

▶ バスケ交流会

期 日	令和6年11月7日～令和7年2月19日 計9日
会 場	小学校体育館
実施先	磐田北小学校 外8校
内 容	<p>三遠ネオフェニックスの元プロ選手で、現在はフロントスタッフ（職員）としてクラブに在籍している鹿毛 誠一郎氏などが学校を訪問し、子どもたちと交流・ふれあいを行った。</p> 

令和6年度スポーツ推進事業について

IV-2 スポーツに係る広報活動・情報提供

○本市ゆかりの選手、チームの活躍を発信する機会の増加

施設、駅等への横断幕の設置、チームマスコット等を活用したのぼり旗等の作成

○磐田商工会と連携し、ホームゲーム開催時におけるフラッグ掲出

○御厨駅改札正面の壁面にジュビロ磐田に関する装飾を実施。

○HP や SNS などの情報通信技術を活用したスポーツ情報発信

市役所1階展示コーナー、磐田市情報館（ららぽーと磐田内）を活用し、地元チーム（ジュビロ、レヴズ、ポニータなど）を紹介。



令和6年度スポーツ推進事業について

政策V 新たな時代に対応した施策等の実施
V-1 スポーツプラットフォーム始動

- プロスポーツチーム、企業、金融機関、団体、大学、行政など、スポーツをテーマにした取組に関心のある様々な関係者を対象とした講演会の実施。

期 日	令和7年1月30日（木）
会 場	磐田商工会議所
対象者	プロスポーツチーム、企業、金融機関、団体、大学、行政
参加者	約50社100人
内 容	<p>五郎丸歩氏に一般社団法人 Future Innovation Lab の活動取組を発表いただいた。また、荒井 daze 善正氏には一般社団法人 SNOWBANK の活動取組を発表いただいた。</p> <p>さらに、講師2名と市長による「スポーツの持つ力・可能性」について対談を実施。</p>


V-2 スポーツ以外の事業を活用したスポーツ施策の推進

- 観光施策などと融合したスポーツイベントの実施

- 静岡県市町対抗駅伝競走大会の支援

令和6年11月30日（土）成績：市の部13位。2時間21分08秒